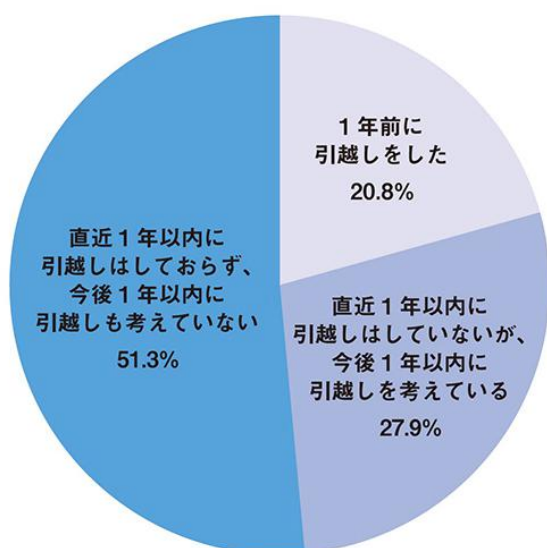


## SUUMO「引っ越し・住み替え実態調査 2021」の調査結果<概要>

●Q.1：引っ越しをしたか、または考えている… 3割弱は「1年以内の引っ越し」を予定  
◇1年以内の引っ越しは、半数はしていないし、今後考えてもいませんが、2割は「1年以内に引っ越しをした」し、3割弱（27.9%）は「1年以内に引っ越しはしていないが、今後1年以内に引っ越しを予定している」結果となりました。

### 最近引っ越しをした？または考えている？

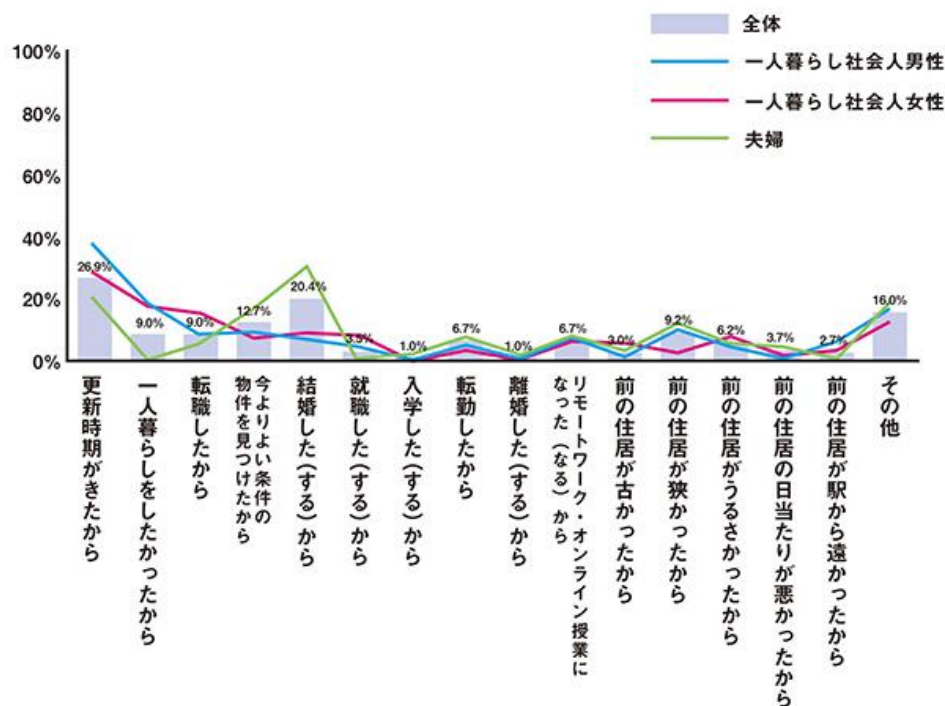


●Q.2：引っ越しを思い立ったきっかけは…「更新」が最も多い

Q.1で「1年以内に引っ越しをした」「今後1年以内に引っ越しを考えている」回答者に、引っ越しのきっかけを聞いたところ、一人暮らし社会人は男女とも「更新時期がきたから」が最も多いが、男女で数値に開きがある。女性よりも男性のほうが、更新手数料を支払って今と変わらない生活を続けるより、一時的に出費が増えても新しい生活を、と考える人が多い。

夫婦は「結婚した（する）から」が最も多く、次に「更新時期がきたから」が多いが、数値は一人暮らし社会人よりも少なめ。反対に「今よりよい条件の物件を見つけたから」の数値は、一人暮らし社会人に比べて多い。一人暮らしのように身軽に引っ越しはできないが、よりよい暮らしを望む安定志向が強くなるようだ。

## 引越しを思い立ったきっかけは？

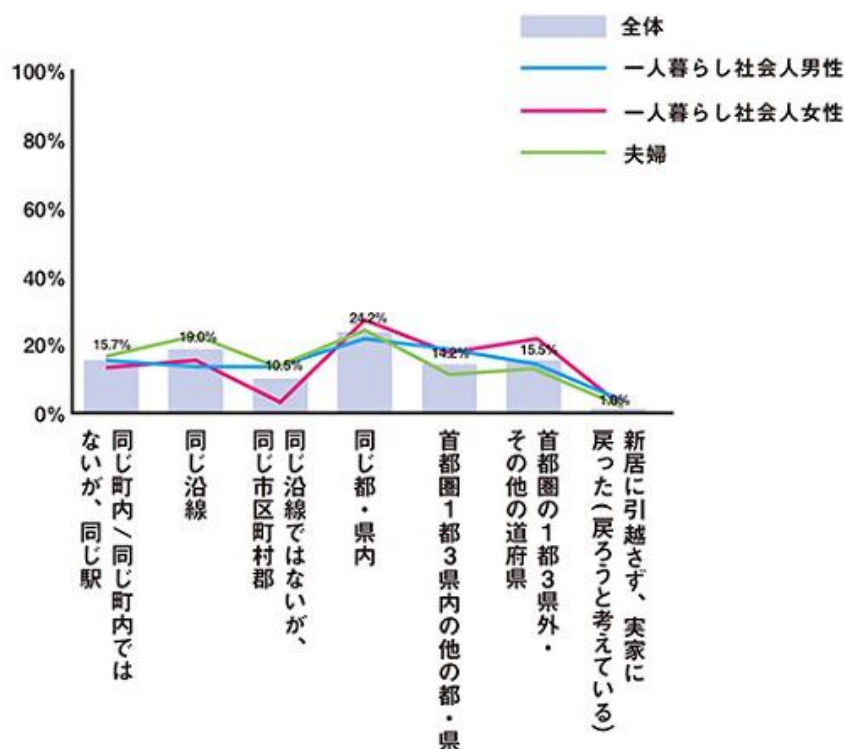


●Q.3：引っ越し前後でどのくらいの距離があるか…「前の家と同じ都・県内」が多い

◇一人暮らし社会人男性・女性、夫婦とも「同じ都・県内」が最も多いという結果になった。

◇特徴的なのは、一人暮らし社会人女性のみ、「同じ沿線ではないが、同じ市区町村郡」が少なく、「首都圏の1都3県外・その他都道府県」が多い点。「引っ越しを思い立ったきっかけ」で「転職したから」の回答が多めだったことから、大きな転機を迎えての引っ越しが多いことがうかがえる。

## 引越し前後でどれくらいの距離がある？



### ●Q.4：部屋探しで重視した条件…「家賃」「通勤・通学時間」「最寄駅からの徒歩分数」

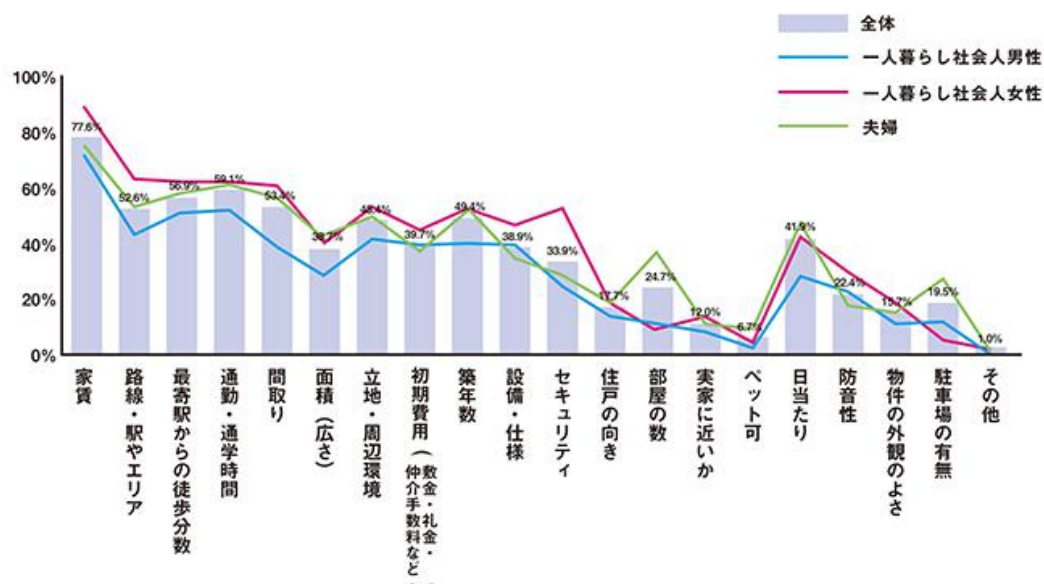
◇すべての層において「家賃」を重視した人が多いが、それ以外は人数・性別などによりさまさま。

◇注目したいのは、一人暮らし社会人女性のデータ。家賃に次いで重視しているのは「間取り」だが、「セキュリティ」を重視した人が半数以上と、ほかの層より飛び抜けて多いこと。ほかにも一人暮らし社会人女性は「路線・駅やエリア」「最寄駅からの徒歩分数」「立地・周辺環境」などを重視した人がほかの層より多めとなっており、安心して帰宅できる環境へのこだわりがより強いことがわかる。

◇夫婦が重視する項目で特徴的なのは、ほかの層と比べて「部屋の数」を重視している割合が多いこと。「部屋の数」へのこだわりが強いのは、共同生活を快適に送るため、特に昨今では、リモートワーク時の快適さが一人暮らしの人以上に重要だから、ということも考えられる。

◇住んでいる街の好きなのところは「便利」なところ。

## 家を探すときに重視する項目



### ●Q.5：入居物件決定の際に、あきらめた項目…「多いのは家賃」「築年数」

◇すべての層において、あきらめるポイントとして多く挙げられたのは「家賃」と「築年数」。また、一人暮らし社会人女性は、ほかの層に比べて「面積（広さ）」をあきらめた人が多く、「通勤時間」をあきらめた人が少ない。仕事が忙しいから家は最小限の広さでよく、その代わりに通勤に便利なところがいい、と考える人が多いのかもしれない。

◇同じく一人暮らし社会人女性でほかに数値が多かった項目は「最寄駅からの徒歩分数」と「面積」で、いずれも20%超。反対に「路線・駅やエリア」をあきらめた人は少ないことから、駅から多少歩いたり部屋が狭くなったりしても、希望のエリアに住みたいという人が多いようだ。

◇引っ越しをしないと答えた人に、その理由をフリーコメントで聞いたところ、どの層でも多く見られたのは「お金」関連のキーワード。敷金・礼金などの初期費用、引っ越し自体の費用などを積み上げると大金になるため、との声が多かった。夫婦の場合は、子どもの環境を変えたくない、保育園問題などに関するコメントも多いのが特徴。

## 現在住んでいる家を検討した際にあきらめた項目

